

- 年頭所感
- 春・秋の叙勲者
- 文部大臣表彰者
- 第30回全国大会記念講演
- 学校保健と地域保健

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

The School Health (No.135)

# 学校保健

昭和56年1月1日発行  
(隔月発行)

発行 日本学校保健会  
東 俊 郎  
〒105 港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル  
電話 (501)3785・0968  
振替口座 東京 4-98761  
頒価1部100円(送料共)



年頭所感

## 人間性と活動力をもった 児童生徒の育成

(財)日本学校保健会

会 長 東 俊 郎

私は、つねづね(財)日本学校保健会が57加盟団体の現場から遊離した存在であってはならない。と考えています。人間の一生のなかで、一番盛んな発育発達をとげる年代である児童生徒の教育は、まず、健康な心身をもった学童の育成であります。私たちの念願する健康とは、単に身体的発達だけでなく、社会を形づくる一人の人間として、人間性と活動力をもった状態であります。それには、生涯保健を志向した学校保健を学校の活動に定着させていただき

たいものです。

昭和56年度は、小学校に続いて中学校も、ゆとりと充実した教育課程の実践の年でございます。しかし、社会の情勢は急激に揺れ動き、文化の進歩は、ますます健康不在の生活へと突き進んでおります。教育の効果は、地域、学校、家庭が三位一体となって、ますます発揮されます。学校保健関係者が相互に連携をとりながら、この願いを達成していただきたいものです。



# 昭 和 55 年 度 叙 勲 され た 学 校 保 健 の 功 労 者

## 春

## 秋

### ◎学 校 医

#### 《旭 五》

加藤 専一 (岐阜県) 三枝 敏 (千葉県)  
 古川喜代重 (東京都) 本城 明朗 (岡山県)  
 岡安謹之助 (埼玉県)

#### 《瑞 五》

池崎 正明 (鹿児島県) 中村 康哉 (島根県)  
 吉田 米重 (山梨県) 石井 市朗 (神奈川県)  
 岩橋 清 (和歌山県) 松葉 栄 (茨城県)  
 佐藤 達雄 (東京都) 浦岡 興家 (愛媛県)  
 芽野 哲雄 (福岡県)

### ◎学 校 歯 科 医

#### 《旭 五》

菅田 晴山 (富山県) 小川 定夫 (鳥取県)

#### 《瑞 五》

今井すゑ能 (滋賀県) 太田 清美 (青森県)  
 森下 壽夫 (群馬県) 新谷富士雄 (石川県)  
 米田 貞一 (香川県) 池淵 重蔵 (大阪府)  
 岩崎 博 (三重県) 新津 恒保 (長野県)

#### 《木 五》

上田 鐵雄 (千葉県)

### ◎学 校 医

#### 《旭 五》

江畑 一夫 (茨城県) 小林 樺太 (三重県)  
 吉野不三男 (千葉県) 前島 忠夫 (長野県)

#### 《瑞 五》

檀野 量夫 (長崎県) 岩城 政秋 (鹿児島県)  
 常喜 郁郎 (滋賀県) 中嶋 安賢 (福岡県)  
 篠田 義成 (富山県) 後藤 甫 (岐阜県)  
 中村 堯 (山口県) 蔵野 覚蔵 (茨城県)  
 田中 英香 (埼玉県)

### ◎学 校 歯 科 医

#### 《旭 五》

藤田 勉 (滋賀県) 樋口 政二 (岡山県)  
 長洲 朝行 (島根県) 山中秀登喜 (高知県)

#### 《瑞 五》

大谷 文雄 (東京都) 清川 清 (東京都)  
 金山萬歳夫 (長野県) 牧野 源一 (青森県)  
 高橋 謙作 (神奈川県) 芝 壽賀男 (愛媛県)  
 宮本 秀雄 (福島県)

多くの叙勲者から、東会長あてお礼の手紙を頂きました。代表として岡山県の本城先生の手紙を掲げさせていただきます。

このたびは小生の叙勲に対し、結構なる銀杯をお送り頂き、まことに有難く厚く御礼申し上げます。一家の宝物として、大切に保存しようと思っております。

さて、小生こと、この道30数年、地域や学校の保

健活動の推進につとめて参りましたが、本年は地元の山陽小学校が、全国の健康優良学校の優秀校として表彰されました。また、地元の町自体は、一昨年、健康づくり優秀団体として、総理大臣賞を頂いており、これで小生の提唱して参りました「地域ぐるみの学校保健」が実現しつつある心地がして喜んでおります。今後とも、なにとぞよろしく御指導賜りますようお願いいたします。

本城 明朗 (岡山県)

# 第30回全国学校保健研究大会

## 文部大臣表彰を受けた功労者・団体・学校

◇学 校 医 32名

- 笹原 克己 (北海道)
- 鈴木 栄二 (北海道)
- 小野 淳信 (青森県)
- 小原 啓靖 (岩手県)
- 加藤 精一 (宮城県)
- 五十嵐 博 (秋田県)
- 安部 正 (福島県)
- 佐藤 弘之 (茨城県)
- 石井 迪雄 (栃木県)
- 大島 武雄 (群馬県)
- 萩原 信之 (埼玉県)
- 永井 義三 (東京都)
- 益川 庄平 (神奈川県)
- 鈴木 弘治 (神奈川県)
- 植木 信夫 (新潟県)
- 神野 正一 (石川県)
- 山岸 進 (岐阜県)
- 杉山 熊男 (静岡県)
- 廣田 良秋 (三重県)
- 尾花 茂 (大阪府)
- 和辻 鍼典 (兵庫県)
- 森 昭 (兵庫県)
- 乗田 岩雄 (鳥取県)
- 栗橋 熊雄 (島根県)
- 笹木 泰夫 (岡山県)
- 長崎 孝 (広島県)
- 梅原 亨 (山口県)
- 竹中 猛 (福岡県)
- 黒木 亀 (佐賀県)
- 麻生 龍生 (大分県)
- 日高 征生 (宮崎県)
- 喜多 哲城 (鹿児島県)



◇学校歯科医 21名

- 田中 盛剛 (北海道)
- 長内 秀夫 (青森県)
- 菅原壮一郎 (岩手県)
- 高橋 統男 (山形県)
- 丸山虎二郎 (茨城県)
- 山田 幸喜 (千葉県)
- 橋本 武夫 (東京都)
- 小野 清 (神奈川県)
- 橋場 恒雄 (長野県)
- 中村 幸義 (静岡県)
- 鈴木 儀二 (愛知県)
- 芦刈 三郎 (愛知県)
- 佐藤 守 (滋賀県)
- 菅原 代次 (兵庫県)
- 湯川 琢磨 (広島県)
- 中井須恵男 (香川県)
- 国澤 重仲 (高知県)
- 斉藤 勝義 (福岡県)
- 久野五佐男 (佐賀県)
- 高橋 義夫 (宮崎県)
- 小濱 重利 (鹿児島県)

◇学校薬剤師 7名

- 佐竹 主税 (埼玉県)
- 鈴木 次郎 (神奈川県)
- 前野 芋 (富山県)
- 栗田 一 (愛知県)
- 間 貞敏 (奈良県)
- 内田 数彦 (福岡県)
- 嘉悦 正二 (熊本県)

◇校 長 4名

- 松山 隆 (滋賀県)
- 景山 幸雄 (京都府)
- 上野健太郎 (大阪府)
- 大平 茂衛 (島根県)

◇保健主事 3名

- 伏見 正直 (山梨県)
- 山内 隆栄 (大阪府)
- 井邊 八郎 (和歌山県)

◇学 校 5校

- 青森県七戸町立野々上小学校
- 〃 七戸町立野々上中学校
- 福井県今立町立南越中学校
- 滋賀県愛東町立愛東南小学校
- 山口県下関市立養治小学校
- 愛媛県玉川町立玉川中学校

◇団 体 2団体

- 群馬県高崎市学校保健会
- 東京都台東区学校保健会

◇養護教諭 7名

- 小川 みつ (千葉県)
- 北村美葉子 (京都府)
- 赤澤 ふみ (大阪府)
- 大島キミエ (広島県)
- 長掛ツヤ子 (山口県)
- 高原 二三 (長崎県)
- 伊礼 鶴子 (沖縄県)

◇学校保健団体役員

- 上原 秋男 (徳島県)

第30回 全国学校保健大会 記念講演

## ゆとりのある、しかも充実した学校経営

— 児童生徒の健康について —

甲南女子大学学長 鱈坂 二 夫

教育とは、子供に生きる力を与え、子供を幸せにすることだと思う。一体、生きる力、幸せにすることは何か。それは、子供が父母から受けついで遺伝の力、それが十分に伸びる。その結果に満足して、しみじみ抱きしめる。これを私は幸せだと思う。その伸ばす力の一番大きいのは当然家庭であり、学校はかなわない。小さいころの子供の教育が非常に大切で、一番影響をもつのが母親である。

私は、母が元気なころ「私にいつごろ愛情を感じたか」と聞いてみた。母の答は、第1が腹の中で動いたとき、つぎがお産のとき、三番目に授乳のときといわれた。この母と子の関係こそが教育の基本である。心理学者ハローは、「愛情とは、まさに膚ふれた場合にでてくる」という。母と子がそうであり、夫と妻がそうであり、教師と生徒がそうであろう。

## ●ゆとりで感情豊かに

一方、伸ばす力を具体的に考えると、肉体の力である。肉体とは、生命を保つ大事な力である。私は成城高校の第1回の卒業生だが、それは、ゆとりばかりある楽しい学校であった。その後、京大では陸上やラグビーで鍛えられた。これも成城で三橋喜久雄先生という体操の先生との出会いがそうさせた。

もう一つ、人間を走らす力がある。感情の力である。肉体と感情とは一体である。しかし、概念的には分けられる。この感情には知性というハンドルとブレーキという意志の力が必要である。

教育課程審議会の答申が、小・中・高一貫して、調和のとれたカリキュラムを作って、人間性豊かな子供に仕上げたい、というのも、このような肉体と感情の調和のとれた人間像を目標としているからである。

## ●生きる力と学習の基本

感情のなかで、価値高いものと結びつくものを情操という。美的情操、宗教的情操、いづれも感情で

ある。子供たちに絵をかかせ、歌を歌わせるのも、この感情をリファインして、洗練して、豊かな美しいものに仕上げたい。これが人間の活力であるからである。

生きる力の基礎、基本が肉体と感情であり、学習のための基礎・基本は知性である。知性の土台は正しい言葉と数、そして関数関係が理解できることである。したがって、ゆとりのある充実した教育も、体育と芸術関係の時間と、低学年の国語と算数を減らしていないのはこのためである。

## ●教えずに教えること

人間は、具体的に二つの世界に住んでいる。一つは表面的な、知性、理性の世界。もう一つは深い、知性や理性では理解できない、悲しい世界。仏教でいう煩悩というようなもの。この二つのバランスが大事である。これの統一には、家庭での父母との関係、もう一つが教育における感化ということが重要である。

私は、「躬行は教えの本なり、言わざるは教えの神なり」という恩師小西重貞先生の書を学長室に掲げている。つまり、教えずに教えるということが、知性の世界でなく、直接的に影響を与える、感化ということである。子供が自から自分で変わっていく、そのための条件と刺激を整えることが、われわれの勤めではないだろうか。

私は、かつて学生のころ読んだドイツの哲学者デイルタイの言葉を思いだす。「われわれが他人に与える感化とは、いかにわれわれが自己を他人のために犠牲にしたか、その犠牲の程度できまる」と。

お腹のなかで動いた、お腹を痛めた、乳房をふくませた、母親のわが子に対する愛情と、犠牲的精神こそが、教育の根底になければならないと思う。

(抄録 杉浦)

# 昭和55年度 全国学校保健協議大会 学校保健の充実に関する要望書

昭和55年12月12日

財団法人日本学校保健会 会長 東 俊 郎

議長団

愛知県学校保健会 会長 鬼 頭 逸 雄

山口県学校保健連合会 会長 梅 原 亨

神奈川県学校保健連合会 会長 清 川 謹 三

日本学校保健会 常務理事 榊 田 桂

## 決 定 事 項

われわれ学校保健関係者は、第1回学校保健大会以来、学校保健の現況をみつめ、その改善について協議し、関係機関に上申して参りました。

昭和55年の全国学校保健協議大会で、57加盟団体の代表が協議した結果、次のように要望事項と研究課題を決定しました。

国、地方公共団体及び関係諸団体に対しては、要望事項を速やかに実施されるよう要望します。なお、研究課題については、保健会側で引き続き検討することになりました。

## 要 望 事 項

1. 児童生徒の心身の健康に関する実態を明らかにするため、総合的な健康調査の実施。
2. 学校保健センター的事業の充実ならびにその成果を普及するため予算の増額。
3. 学校保健を地域保健の中軸に位置づける学校保健活動推進地区の拡充。
4. 心臓検診のため、心音、心電図の実施経費の予算化。

## 研 究 課 題

1. 教育職員免許状の取得に当り、「学校保健」を必修単位にする。
2. 現職教員の学校保健研修について、一層の充実を図る。
3. 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の処遇について改善、また、専門医の配置の検討をする。
4. 養護教諭の早期全校配置、大規模校における複数配置を図る。
5. 歯牙折損に関する廃疾基準の改正をする。

## 母親の立場から

## 地域ぐるみの学校保健

家庭の健康保持・増進については、主婦として気を配ってまいりました。しかし、学校という集団の保健・安全の諸問題を協議する学校保健委員会の一員として、大役をお受けした時は、本当に責任を果せるかどうか、とまどいと、不安で一杯でした。

そんな私を、ふみきらせてくれたのは、高崎市学校保健会の総会で、三師会の先生方が、子どもの健康問題に対して、積極的に取り組む姿勢でした。

心身ともに健康な子どもの育成をめざし、体力づくり推進校として、研究が行われ、保健・安全の面にも細かな指導・管理がなされているのを見て、母親としてできるだけ協力し、微力ながらもお役に立ちたいものと思いました。

## 1. 北小学校の学校保健委員会

学校医・歯科医・薬剤師・PTA保健体育委員・児童保健委員・学校職員など65名で構成され、議題により保健所・市予防課の職員などの助言を要請します。

委員会は年間8回開催され、議題は学校保健安全計画の月例目標を参考にして決定します。

幅広い保健活動の推進を図るため会の運営は、子どもたちの活発な意見、質問を尊重し、和気あいあいのうちに、豊かな人間関係をつくる努力をしております。

とくに、児童保健委員とPTA保健体育委員は共同して、給食袋、マラソン後の汗の始末に使用する汗ふきタオルを考案し、試作しました。

保健室の環境づくりについても話しあって、休養室コーナーに手作りのクッション・カーテン・ベッドカバーなどを備えつけ、安らぎの雰囲気作りに力をあわせました。

このような活動を通して、児童の生まの声を聞

き、大人と子どもの触れあいを、深めることができたのではないかと考えています。

## 2. P T A 保健体育委員会の活動

地域ぐるみの保健活動の例として、次のようなものがあります。

6月 水に関する講習会

(水泳実技・救急法・保健管理)

7月 血液型検査

11月 体力づくり親子ハイキング

3月 心の健康

## 3. 地域での活動

これとは別に、市P連では11月に性教育について「学校と家庭を結ぶ性教育」の講演会をします。

その他、昨年10月の委員会では「体力づくりと健康」について、話し合いがもたれました。

児童の体力づくりに呼応して、家庭での体力づくりの創意工夫の実践例を「保健だより」にのせて、地域の家庭へ配布しました。

これに刺激されて学校周辺の人達が、毎朝校庭へ集り、ラヂオ体操・マラソン・鉄棒などを、1年以上も続けて行っています。

校外指導の委員会のお母さん方は、地区の実態について話し合い、非行防止・交通安全・災害予防のために、どの子どもにも「愛のひと声」をかけあって注意しましょうと提案し、母親たちの地区活動として続けております。

「心身ともに健やかな子ども」は、学校・家庭・地域との協力で育成されるものと考えます。

学校保健委員会も常に地域との情報交換につとめその実態をふまえて、一步一步着実に運営していくことが大切であると考えます。

高崎市北小 保健委員長 高橋秀子

# 学校保健とPTA活動

— 学校と家庭、地域のきずな —

## 1. 学校保健委員会

本校の学校保健委員会は、伝統的に20年も前から、毎月開催しています。

この委員会が柱となり、地域への啓蒙と実践を通じ「家庭ぐるみの健康づくり」をすすめております。

生徒は「セルフ・コントロール」を合言葉に、生徒自身の健康を自分で守り、増進していく心構えと、具体的な実践内容を話し合い、親の側では、理解と協力と援助をして、学校や、校医さんの指導助言を頂いております。

インフルエンザ・日脳・風疹などの予防接種の実施は、学校保健委員会での話し合いに基づいて行われ、会場での接種がスムーズに運ぶように、私たちは班別にお手伝いに参加しています。

## 2. 高齢化社会への対応

私たちの校区は、昔からの家業をうけ継ぐ家が多く、家系が何代か続いていて、祖父母と同居家族が目立つ地域です。

そのために、社会福祉にも関心が高く、2年前に全校生徒による「老人に対する意識調査」を実施しました。

一方、PTAのお母さん方には、市が毎月開催する「家庭看護教室」への参加を呼びかけ、ボランティアの会にも入会し、地域の「ねたきり老人」の家庭へ奉仕に出かけてくださる母親もおります。

PTA活動の中に、老人ホーム訪問も計画し、毎年県立特養老人ホームを訪ねて、お見舞いをしております。

高齢化社会の問題は、学校教育の中にも是非とりあげて頂きたい課題であると思います。

## 3. まとめ

本市の学校保健会には、学校保健優良校の表彰制度があります。

本校は昨年につづいて、本年も受賞しました。

学校保健委員会活動も、永年の実践が慣習となり、必ず三師会の先生方が出席されることは、他校から羨望されております。

今日までの積みあげの過程には、三師会の先生方の御協力と、校長先生をはじめ職員の先生方の御理解によるものと、私たち子どもの親として、深く感謝申しあげております。

高崎市第2中PTA保健部長 大田部八千代

## お知らせ

### 学校保健用品の推せんに関する 規程改正について

今般、上記の規程が改正され、昭和55年10月3日より適用されることになりました。

おもな改正点は、申請申込の期日が毎年2月末日までとなったことです。昭和56年度の申請希望者は、早目に事務局へお問合せください。



平均 余命		昭 54	明治24~31	昭 22
	男		73.46	42.80
女		78.89	44.30	53.96

# 高校生の豊かな学校生活

## — 心の交流と自発性の確立を —

### ☆すばらしい体育祭

東京都立E高校の体育祭はまことにすばらしい。私は今まで6つの学校を経験しているが、体育祭の退場行進で感激の涙を流す姿を見たのは初めてのことである。競技に全力を打ち込むのは勿論、赤白青の三組の競技とその応援の調和は誠にすばらしく、しかも、三組の応援団は個々ばらばらに応援するのではなく、一貫した流れがあり、体育祭全体を実にうまく盛りあげていくのである。一日の運営もほとんど生徒の手で行われ、プログラム最後の色別リレーの後は、赤白青のそれぞれ一基ずつの大神輿が出て、ほぼ、30分の間全員で校庭狭しとねり歩くのである。その感激が退場行進での涙につながるのであろう。

### ☆問題行動と原因

現在の高校生の問題行動については、世間でしばしば問題になり、都立教育研究所の調査によれば、入学した生徒のほぼ9.6パーセントの生徒が3年間に退学・転学（引越などの物理的理由は除く）あるいは、原級留置になっているという。9.6パーセントと言えば、折角高校に入学した生徒10人に1人であり、非常な高率と言える。そしてこのように高校生活から、脱落してゆく生徒の原因は、\*高校進学の原因が他律的なもの（自分の意志で高校進学を決めていないもの）、\*家庭での存在感の悪いもの（家にいることが楽しくない、落ち着かない等）、\*余暇の利用の悪いもの、などにあるとされている。このことは、一つには、いかに生徒自身の勉学や生活への自発的意志が大切であるか、ということ、二つには、家庭の暖かい雰囲気・親子の心の交流が大切であるかを物語っていると言えるように思う。

### ☆援助と自己決定

高校生の問題行動は甘えの心理構造にあるのであ

るから、厳しい躾が必要であるとして、訓育第一主義を主張される向きも多いが、果してそれだけで問題は解決されるであろうか。“馬を水辺まで連れてゆくことはできるが、決して水を飲ませることはできない”という諺の持つ意味を是非もう一度考えてみる必要があるように思われる。生徒の変容は、生徒自身が自分の意志でこうしようと考えない限り、決して起り得ないのであり、その意味からは、いかに生徒に自己決定させるかの援助を教師は考えなくてはならないのである。

### ☆生徒・親・教師の理解と信頼で

岡山県の津山高校は県下でも屈指の優秀な高校であるが、先日N校長は次のように語られていた。「私は教員に自動車での通勤は遠慮してもらっている。それは駅から学校までの15分を生徒とともに歩いて登校してもらうためです。その15分間に、生徒に声をかけ、話し合うことができるからなのです。」と。T高校では、朝7時から生徒が自習室につめかけるという。生徒の心を理解し、話し合いによって生徒の自己洞察、自己決定への契機を与えることの大切さがここにも感じられるように思うのである。

生徒との間に本当の意味での心のつながりのある教師にして、はじめて真に生徒を叱ることができるのである。その意味ではE高校の先生方は実によく生徒の相談にのり、話し合いを行っている。体育祭へ向けての生徒のあれだけの情熱は、平素の生徒へのこのような教育活動がなければ出てはこないのではないかと思う。

高校生の豊かな学校生活の実現のためには、教師と生徒、親と子の間の理解と信頼の確立がなによりも第一歩であると思うのである。

東京都江戸川高校校長 加藤道理



全国健康優良学校

# 心とからだの健康つくりをめざす学校保健

— 性教育、心つくりを中心に —

## 1. 本校の教育目標

- 心身ともに健康で 明るい子ども
- 自分も他人も だいじにする子ども
- よく考えて進んで 学習する子ども
- 根気よく仕事に 取り組む子ども

本年度も前年度に引き続いて「心身ともに健康で明るい子ども」を重点目標にあげ、低・中・高学年の段階に応じ、次のような具体目標にあげ、自らの健康づくりに励み、意欲をもって活動する児童の育成に取り組んでいる。

学年の目標

心身ともに健康で明るい子ども	低学年	○元気よく運動する。 ○さいごまでがんばる。 ○なかよく助けあう。
	中学年	○じょうぶなからだをつくる。 ○根気よく仕事をやりぬく。 ○友だちと仲よくする。
	高学年	○たくましいからだをつくる。 ○粘り強く最後までやりぬく。 ○人の立場を考え協力する。

## 2. 学校保健活動

心身ともに健康な児童の育成は、豊かな人間性の開発を目指した教育の基礎であり、本校として取り組むべき重要な課題である。創立以来、健康教育研究発表会の開催、都、区健康優良校、全日本健康優良学校特選校としての表彰など、一貫して健康教育の充実と推進を重ね、学校生活全般の中で多角的な保健活動を実施している。学区域のほとんどは住宅地であり、家庭の健康管理も極めて積極的で、学校と家庭との協力が密接に行われている。

### (1) 子どもの実態

「仕事に取り組む気力に欠ける」「最後までねばり強くやりとげない」など、教師や親の声がある。朝会が少し長くなると貧血で倒れたり、気分が悪

くなったりする子ども。大都会の中で生活する子ども達の姿は、いずこも共通的であろう。心の健康づくりは、身体健康づくりの基礎となるものであり、あらゆる場で「心とからだをきたえる」はたらきかけをしている。

## 3. 特徴的な活動

本年度は、教育目標達成のため、視点のひとつとして児童の「遊び」を取りあげ、生活化を図っている。

「あそび」の実態を調査し、それをもとに「遊び」の紹介や指導を通じ、体力づくりをねらって研究をすすめている。

また、特別活動の時間、学校裁量の時間、地域子ども会活動等にも「遊び」を多く取り入れ、児童相互の心の交流、地域連帯の心を育てるため、活動している。

### (1) 高松タイム（学校裁量の時間）と集会活動

本校では、特に「遊び」を通じて児童の心の交流や体力づくりをすすめる手だてとして、金曜日の「高松タイム」を設定している。より楽しい内容をとりいれて、計画をたてる努力をしている。これらの活動は、全校でとりくむ七夕集会、豆まき集会となり、地域子ども会の行事へと発展している。

### (2) 保健指導、性の指導

「心身の健康づくり」をねらった保健活動としては、むし歯予防の徹底や健康診断時に発見されたさまざまな疾病の治療勧告、また、積極的な健康増進に、個の指導の徹底化を図っている。

学級指導における「性教育」の指導については、「幸福な人生を送るための教育」という視点でとらえ、性差と性の成熟の科学的理解、生命尊重、男女平等そして協力等の内容で系統的な計画をたて

実施している。

○学年別指導内容（学級指導に特設）

学年	指 導 内 容	時 間
一 年	主 題 きれいなからだ ねらい 体や衣服を清潔にすることの大切さを知らせると共に、他人に対しても、不快感を与えない基本的な生活習慣をつける。	1/2
一 一 年	主 題 わたしのたんじょう ねらい 自分の誕生日と関連をもたせ、生まれた時の両親や家族のよるこびを知り、大事に育てられている自覚をもたせると共に両親への感謝の心を育てる。	1
三 年	主 題 男の子、女の子 ねらい 男女のからだの違いや発育差に気づかせ、男女協力して明るく楽しい生活ができるような態度を養う。2年の関連として「いのちの大切さ」を深める。	2
四 年	主 題 わたしたちの成長 ねらい 体の成長には、個人差があることを知り、心身の成長について、正しい理解をもたせる。（第二性徴を健康に育たしめるしとして理解させる）	1
五 年	主 題 からだと心の成長（その1） ねらい 自分の体が、だんだんと大人に近づくことを知り、男女の発育の違い、男女の役割と協力、人間らしい心づくりの必要を理解させる。	1
六 年	主 題 体と心の成長（その2） ねらい 生命のなりたちを、科学的に理解させると共に、大脳のはたらきにもふれて人間らしく生きる努力の必要と、自他を大事にする心情を育てる。	2
5,6年女子対象 私たちの成長(初潮指導)略		1

4. 性教育の底に流れるもの

教育目標のひとつである。「自分も他人もだいじにする子ども」を軸として、「心づくり」を中心に性教育のプログラムをたて実施している。

性教育は、愛の心を育てる教育といわれる。男女それぞれの立場を意識して、お互いを大事にすることを基本におく。人の立場にたって考えられるような人間に育てることは、将来、幸せな人生を生きることができると思われる。

(1) 性教育の内容

性教育は全体を見通し、実態に即した系統的なプランをたて、発達段階に応じた指導を繰り返し続けることが必要である。自他を大切にし、人の立場にたって考えられる自覚の芽を育てることが性教育の基本である。また、よりよく生きるための努力（大脳のトレーニング）の必要を理解させ「人間らしく生きること」が、「幸せな人生を送ること」のできる人間であることを強調しており、各学年の積み重ねを強化している。男女の「体」と「心」の特性を理解させることは、生命尊重、男女平等、男女の協力、性被害防止等に通ずる指導内容である。

(2) 指導体制

担任と養護教諭が協力して、指導案を作成している。また、効果をあげるために両者が、それぞれ特性を出し合い、緊密な連携のもとに指導をしている。現在、1年から6年までの性教育計画にそって、全職員が意欲的に取り組んでいる。保護者の協力体制もよく、条件としては恵まれている。

5. 今後の課題

教育課程における性教育の位置づけは、教育活動全領域を通じて行うとなっているが、現状としてはうまくいかない。位置づけが明確にできれば、性教育の発展がみられると思う。

本校としては、一年生からの積み重ねの充実と全職員による研究体制。そして研究組織の強化、さらに実態に即した使いやすい指導票、具体的で楽しい資料の作成が今後の大きな課題である。

東京都豊島区立高松小養護教諭 福原保子



## 第44回 全国学校歯科保健大会鹿児島にて開催

第44回全国学校歯科保健大会は、菊かほる秋たけなはの11月14日、15日に南国鹿児島に全国から約千人の参加者を得て「保健指導と保健管理の調和」をメインテーマとして盛大に開催された。

11月14日(金)は第一領域、鹿児島県産業会館において450人参加のもとに「子供からむし歯をなくそう鹿児島県民大会」を本大会の領域のひとつの中において開催しながら、地域の歯科保健と学校歯科保健のむすびつきについて、活発なる討論がなされた。

第二領域は「心身障害児の歯科保健のあり方」について、鹿児島県立皆与志養護学校とやまびこ整肢学園にて、230名出席のもと公開授業と「肢体不自由児の歯科保健教育の現状」及び「やまびこ整肢学園における歯科保健活動」の研究発表がなされた。研究協議は「心身障害児の歯科保健をどのようにすす

めたらよいか」をテーマとして、活発なる協議がなされた。来年は、「国際障害者年」にもあたるので、時宜を得たるテーマで参加者は非常な感銘を受けた。

第三領域は、鹿児島県立草牟田小学校において580名参加して、「学級指導を中心とした歯の保健指導のあり方」をテーマに行われた。昭和53年文部省から刊行された「小学校歯の保健指導の手引」を活用しながら、学校における保健活動のあり方について、研究協議がなされた。

第二日、11月15日(土)は、秋晴れのもと鹿児島県文化センターにおいて900名参加のもと大会式典、研究協議会報告及び全体協議会が行われ、明年は東京での再会を期し、2日間にわたる大会の幕を閉じた。

日本学校歯科医会常務理事 石川行男

### 母乳の成分に人間の文化がある

人間の母乳の成分は、ユニークです

蛋白は……牛乳の $\frac{1}{3}$ 、イヌ乳の $\frac{1}{3}$ 、イルカ乳の $\frac{1}{10}$   
糖質は……牛乳の1.6倍、イヌ乳の2.3倍、イルカ乳の8倍

なぜなのか？

- 人間は、歩きはじめるのに1年もかかります。
- 穴の中で生れた熊は、数ヵ月で10kgにもなります。
- 人間の母乳は、骨格・筋肉の発達より、生体機能に必要な臓器にあてる成分といえます。
- 母乳からのエネルギーは、大部分が脳、中枢神経系で使われていると考えられます。

○新生児の脳の重量は、体重の15%。成人は2~3%です。

○大人になって脳に流入する血液は20%。赤ちゃんの大きな脳には、きわめて大量の血液が流入しているものと計算されます。

○2才児の脳の重さは、成人の60%に達します。

したがって——

母乳のエネルギーは、活発に発達しながら機能している脳で、多くが消費されています。

東大教授 小林 登著「子どもは未来である」より

肉体疲労時のVB<sub>1</sub>補給に——

# アリナミンA

筋肉痛・腰痛・神経痛・肩こりの緩和、脚気、病中病後・妊娠授乳期のビタミンB<sub>1</sub>補給にも。

武田薬品工業株式会社  
〒541 大阪市東区道修町2-27



## 学童の集団検尿には 潜血検査も

キッドステック<sup>TM</sup>



ヘマコンビスティック<sup>®</sup>

製造元：エームス事業部 販売元：三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

## 肉体疲労時の栄養補給

虚弱体質に

# ポポンS錠

シオノギ製薬

### 学校心臓検診の実際

日本学校保健会 編 A 5判196ページ 700円 (送料実費)

### 学校検尿のすべて

日本学校保健会 編 A 5判120ページ 480円 (送料実費)

### 知っておきたい脊柱側弯症

日本学校保健会 編 A 5判64ページ 400円 (送料実費)

### 映画「ぼくの心臓」

文部省選定作品 16%カラー 3巻25分 165,000円

予防医学事業中央会

東京都新宿区市谷砂土原町1-2  
☎03(268)1800 振替・東京0-38038

# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

# カワイ肝油ドロップ



製造発売元 河合製薬株式会社 東京都中野区新井2-51-8

これからの教室、体育館などの学校清掃管理は——SCシステムで!

安全  
で  
清潔



- 塗るだけでピカピカ!
- 滑らないので安全です
- 水性タイプなので安全、清潔です



ペンギンワックス

推薦 日本学校保健会

カタログご希望の方は、SCS係宛お申し込み下さい。

本社 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537) TEL 06 (976) 1451

## 歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

# バネット<sup>スタン</sup>ジュニア

ライオン株式会社